

# 第11回 埼玉大学脳科学セミナー

主催：埼玉大学脳科学融合研究センター

## 自閉症児に対する評価と支援 —言語聴覚士の立場から—

雨森純子 先生

目白大学 保健医療学部 言語聴覚学科 助教

日時：2009年 8月11日（火曜日）  
16:00 ~ 17:00

場所：大学院国際セミナー室  
理工学研究科棟7階

本セミナー修了後に簡単な懇親会を予定しております（参加費300円）

問い合わせ先 坂井貴文（内線 4308）

脳科学融合研究センターは定期的に脳科学セミナーを開催しています。誰でも自由に参加出来るセミナーですので、奮ってご参加下さい。詳しくは下記のHPをご覧ください。

<http://www.saitama-u.ac.jp/iron/hP-kenkyo/shinkou/nousemi21.htm>

## 抄録

近年「広汎性発達障害」「自閉症」「アスペルガー障害」などのことばがメディアにも度々登場するようになってきたが、これらは先天的な脳障害によるものであり、自閉症スペクトラム障害に属する。臨床においては、専門家による知能や言語能力、社会性、行動特徴などの評価を踏まえて医師が診断を行なう。今回は、言語聴覚士（**Speech Therapist : ST**）の視点から自閉症スペクトラム障害の評価と支援について紹介する。さらに、自閉症スペクトラム圏の小児において、認知機能および知能、脳機能に関する研究機運が高まってきたことを受け、知能の構成要素の一つに挙げられる類推機能について、レーヴン色彩マトリックス検査を用いて3歳から6歳の定型発達児について検討を行なったので紹介する。